

頻発する人道危機： 人道支援の共創とイノベーション

2/13(火) 13:30-14:45

モデレーター

道傳愛子 (NHK World Special Affairs Commentator /
Newsline In Depthキャスター)



登壇者

鵜尾雅隆 (ファンドレイジング協会代表理事)
大西健丞 (ピースウィンズ・ジャパン代表理事)
長有紀枝 (立教大学教授)
金田晃一 (株式会社NTTデータグループ)
谷合正明 (参議院議員) *予定



能登半島地震、パレスチナ情勢、ウクライナ危機、気候変動など、人道危機が頻発、深刻化し、連動しています。変わりゆくニーズに対し、人道支援がどのような連携、共創そしてイノベーションで対応できるのでしょうか。

本シンポジウムでは、政府、研究者、企業、NGOと異なるセクターの方々に登壇いただき、国内/海外、自然災害/紛争/感染症、緊急/中長期の対応などさまざまな角度から議論を深め、本学会が目指す新しい人道支援の実践や研究の可能性を探ります。

日時： 2月13日(火) 13:30-14:45

場所： 東京大学駒場キャンパス 21KOMCEE East K011教室
(オンラインでの視聴も可能です。)

モデレーター：

道傳愛子 (NHK World Special Affairs Commentator, Newsline In Depthキャスター)

登壇者：(50音順)

鵜尾雅隆 (ファンドレイジング協会代表理事)

大西健丞 (ピースウィンズ・ジャパン代表理事)

長有紀枝 (立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科/社会学部教授)

金田晃一 (株式会社NTTデータグループ サステナビリティ経営推進部
シニア・スペシャリスト)

谷合正明 (参議院議員、予定)

参加費： 緊急人道支援学会第1回設立記念大会の一部として開催されます。

(会員) 3000円、(非会員) 5000円 (学生) 無料・要事前登録 (懇親会) 5000円

全体プログラム：<https://jashas.org/conference/announcement/240213.html>

お申し込み：

<https://jashas-conference1.peatix.com/>

お問い合わせ： 緊急人道支援学会事務局
info@jashas.org



緊急人道支援学会

Japan Society for Humanitarian Action Studies

登壇者・モデレータープロフィール(50音順)



梶尾雅隆 (うお・まさたか)氏 日本ファンドレイジング協会代表理事

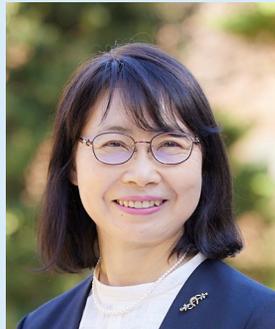
JICA、外務省国際協力局での17年の勤務を経て、日本ファンドレイジング協会を創業し現在代表理事。日本ファンドレイジング協会は、ファンドレイザーの育成や寄付教育を推進する団体で現在約2500人の会員が在籍。社会問題解決を目指す財団・企業600法人(アジア最大のネットワーク組織)Asian Venture Philanthropy Network (AVPN)の日本代表事務所も兼ねている。G8ロンドンサミットで誕生した社会的インパクト投資タスクフォース(現在は世界40ヶ国に拡大し、現在GSG : Global Steering Group for Impact Investment)の日本諮問委員会、副委員長。学校法人至善館 副学長兼インパクトエコノミーセンター所長、公益財団法人PwC財団助成金選考委員長等も務める



大西健丞 (おおにし・けんすけ)氏

認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン代表理事兼統括責任者

1967年大阪府生まれ。上智大学文学部新聞学科卒業。ブラッドフォード大学平和研究学部国際政治・安全保障学修士課程修了。大阪大学人間科学研究科博士課程単位取得満期修了。1994-95年 アジア人権基金・イラク北部担当調整員を務め、1996年、ピースウィンズ・ジャパンを設立。2000年にジャパン・プラットフォーム設立に参画。2006年にはダボス・ヤング・グローバル・リーダーに選出。2015年厚生労働省「国際保健」参与。2018年外務省「ODAに関する有識者懇談会」有識者委員。2021年～経済同友会「新しい経済社会委員会」副委員長。2016年日経ソーシャルイニシアチブ大賞を受賞。



長有紀枝 (おさ・ゆきえ)氏

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科/社会学部教授、認定NPO法人難民を助ける会(AAR Japan)会長、人間の安全保障学会(JAHSS)2022-23年度会長

早稲田大学政治経済学部政治学科卒業、同大学院政治学研究科修士課程修了、東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム博士課程修了(博士2007年)。1991～2003年までAAR職員として旧ユーゴスラヴィア、アフガニスタン、チェチェンなどの緊急人道支援や地雷対策・廃絶活動などに携わる。2009年より立教大学教授。主な著書に『入門 人間の安全保障—恐怖と欠乏からの自由を求めて』(中央公論新社2012年、増補版2021年)、編著に『スレブレニツァ・ジェノサイド 25年目の教訓と課題』(東信堂2020年)。ホームページ<https://osayukie.com/>にコラム等掲載。



金田晃一 (かねだ・こういち)氏

株式会社NTTデータグループ サステナビリティ経営推進部 シニア・スペシャリスト

慶応義塾大学経済学部卒業、レディング大学大学院修士課程(多国籍企業論)修了。ソニー 渉外部通商政策課、在京米国大使館経済部、ブルームバーグTVアナウンサーを経て、24年間にわたり、以下の5社にて震災復興等に取り組む。①ソニー(再入社): 阪神・淡路大震災仮設住宅支援、JPF/JAHDSの設立支援、②大和証券グループ本社: 大和証券グループ津波復興基金(ACC21)、③武田薬品工業: タケダ・いのちとくらし再生プログラム(日本NPOセンター)、JVOAD/米日カウンスル・ジャパンの設立支援、④ANA ホールディングス: 震災復興リーダー・コネクト・プログラム(JVOAD)、⑤NTTデータグループ: JVOAD—事業部間の連携促進。



谷合正明 (たにあい・まさあき)氏 (予定)

参議院議員

京都大学、同大学院修士課程修了(農林経済)。在学中に、スウェーデン・ウプサラ大学に交換留学。平成11年ODA開発コンサルタント会社、平成12年より国際医療NGOのAMDAIに勤務。公設国際貢献大学校の上席研究員、平成20年～21年経済産業大臣政務官、平成22年～23年参院消費者問題特別委員長、平成26年～28年参院総務委員長、平成29年～30年農林水産副大臣。現在参院法務委、倫理選挙特委各理事、国家基本政策委、政治倫理審査会各委員。



道傳 愛子 (どうでん・あいこ)氏

NHK World Special Affairs Commentator, Newsline In Depthキャスター

上智大学外国語学部英語学科卒業後、NHK入局。米国コロンビア大学大学院留学 国際政治学修士。「NHKニュースおはよう日本」「ニュース9」キャスター担当後、バンコク特派員として、タイミャンマーなどASEAN地域の政治・経済とともに、教育、ジェンダー、難民など人間の安全に関わる課題を取材。「NHK海外ネットワーク」キャスター、解説委員を担当後、現職。「ウクライナ侵攻が変える世界」ではノーベル文学賞スヴェトラナ・アレクシエービッチ氏にインタビュー。日本ユネスコ国内委員会委員、日本国際交流センター(JCIE)理事、Board of Governors, UNESCO Mahatma Gandhi Institute for Education for Peace。訳書に『マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女』(岩崎書店)。